

## 平成29年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 尾 山 伸 二

### ○ 平成29年度重要事業

事業名	衛生施設の整備
目 標	<p>クリーンピア射水については、現施設の延命化を図るため、長寿命化総合計画や生活環境影響調査書を作成します。</p> <p>新斎場については、平成29年3月に策定した「射水市新斎場整備基本計画」を踏まえ、基本設計を行うとともに、関係自治会に対しては、引き続き丁寧に説明しながら合意形成を図ってまいります。</p>
年度末達成状況	<p>クリーンピア射水の長寿命化総合計画については、生活環境影響調査の分析や評価を終え、環境水準を維持しながら更新コストやランニングコストの縮減について検証し、策定を完了しました。</p> <p>新斎場の整備については、基本設計が完了し実施設計に着手しているところです。また、都市計画決定等の法手続きについても、関係機関との事前調整が完了しました。</p>
自己評価	<p>クリーンピア射水については、今後も安心して安全な施設運営を図るため、計画に基づく基幹的設備改良工事の発注に向け、準備を進めていきます。</p> <p>新斎場の整備については、地権者をはじめ地元の理解が徐々に深まってきており、2020年度（平成32年度）の竣工に向けて着実に進めていきます。</p>

事業名	コミュニティバス路線の見直し
目 標	<p>平成28年10月から運行している中央幹線「0番線」をはじめ、既存路線の見直しを図り、利用実態に合わせた車両の小型化を進めるなど、利便性の高い効率的な運行を実施します。</p>
年度末達成状況	<p>平成29年10月から中央幹線「0番線」を新湊地区センターまで延伸したほか、停留所の新設や廃止など6路線について見直しを行いました。</p>
自己評価	<p>本年度は、中央幹線「0番線」の延伸や通勤・通学利用者が増えたことにより、コミュニティバスの利用者数が増加しました。</p> <p>今後は、市民アンケートや利用者ニーズ調査を行うなど、更なる利便性の向上を図り、将来にわたって持続可能な公共交通となるよう努めていきます。</p>

事業名	協働のまちづくり事業の推進
目 標	<p>多くの市民の方にまちづくりへの興味や関心を高めてもらうため、地域振興会やNPO団体などの活動を研修してもらう「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を開設します。</p> <p>また、これまでの射水まちづくり大学の卒業生が自主的にまちづくりに関わっていただけるよう「(仮称)射水まちづくり大学OB会」の設立を支援し、協働のまちづくり事業を推進するための担い手育成に取り組んでいきます。</p>
年度末 達成状況	<p>「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を3回のプログラムで実施し、延べ72名が参加しました。</p> <p>また、射水まちづくり大学の卒業生有志がスタッフとなり、「射水まちづくり大学卒業生の集い」を本年4月に開催するため、昨年12月から月2回のペースで話し合いが進められてきました。</p>
自己評価	<p>地域で活躍できる人材を発掘するための取り組みができたものと思っています。</p> <p>今後は、職員応援団制度を見直し、地域振興会と市が一層連携しながら、協働によるまちづくりを更に推進していきます。</p>